

### 6年生の学級通信から参観日ありがとうございました（6/21）

心きらり（道徳教育）参観日で、「ヘレンと共々」（希望と勇気を持って）という教材を通して、「自分の夢や目標に向かって、勇気を出して、あきらめない心で挑戦していく強い気持ち」について考えました。有名なヘレン・ケラーの家庭教師となったアニー・サリバンの懸命な姿から、自分の夢や目標、生活と重ねて過ごし方を考える時間になりました。

終末では、山崎さんのお母さんをゲストティーチャーに迎え、あきらめないで頑張ったこと、保育士としての願いや思いのお話を聞かせてもらいました。子どもたちがこれから直面する困難、輝かしい未来に向かってチャレンジする強い気持ちについて、勇気の出る話をさせていただきました。

子どもたちは、道徳のある日は、「授業で考え、仲間の思いを聞くなどして学んだこと」「これまでの自分を振り返って」「これから自分はどう過ごしていくか」など、思いをそれぞれの道徳ノートに綴っています。道徳のある水曜日を持って帰ると思うので、またご覧になってくださると励みにもなります。

「自己の生き方をみつめる児童の育成～道徳科の研究を通して～」が本校の校内研の研究テーマとなっています。「思いを普段の行動につなげる」、実際に生活のあらゆる場面で、道徳の授業で考え、学んだことを、実行にうつせる子どもたちへと成長して行ってほしいと願っています。

懇談では、「高知の道徳」にのっている「我が家のルール」7項目について話し合いました。「あいさつ」「家族の会話」「役割」「がまん」「人を敬う態度」など、おうちで特に重点的に声かけを行っていることについて協議する中で、子育てのこと、しつけや子どもとの関係づくりの話などが深まりました。

最上級生として、もう一步ふみだす勇気、その場にあった行動や態度など、もっと伸ばして行ってほしいことは、これから学級でも話し合っていきたいと思います。ご家庭でも、もう一度、生活のこと、きまりや役割、交通ルールのことなど、子どもたちと話し合いながら健やかな成長とよりよい生活を、ともに目指していきましょう。



目標に向かって、自分にできることから、毎日コツコツやっていくことで、自分をその目標に近づけよう。失敗してもいい。いつでも前向きに自分を受けとめようね。（琴都ちゃんのお母さんより）

子ども達は、ゲストティーチャー山崎さんの話が心に響いたようです。忙しい中、ありがとうございました。